

# 第11次福島県職業能力開発計画概要

東日本大震災及び原発事故後の新たな産業集積の動きや、少子高齢化、新型コロナウイルス感染症感染拡大などを背景とした労働市場をめぐる環境の変化、更に、社会全体のデジタル変革が加速する中、本県が復興・創生を果たし、持続可能な地域産業の発展を成し遂げるために、就職を希望する人や在職者の能力、資質を高め、一人一人の生産性向上に向けた職業能力開発施策を推進する基本的方向を定める。

**現状・課題** ○原発事故や自然災害、新型コロナウイルス感染症による産業への影響／人口減少社会の進行／若年者の離転職／女性、高齢者、障がい者等の就労支援の充実が必要／産業構造、雇用情勢の変化に対応した人材育成が必要／技術・技能の継承のための支援が必要／企業が行う職業能力開発の支援が必要

## 実施目標

## 職業能力開発の基本的施策

### ふくしまの復興・創生を担う産業人材の育成

地域に根ざした産業の振興や福島イノベーション・コースト構想等の進展による成長産業分野の担う人材の育成により、ふくしまの復興・創生を目指す。

- 地域に根ざした産業の振興を担う、新たな技術に対応できる人材の育成や人材不足となっている建設・介護分野等における人材の育成
- 産業集積を推進しているロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、医療関連、廃炉、航空宇宙の成長産業を担う専門的知識や技術等を身につけた人材の育成
- 成長産業等に携わる人材の裾野拡大のための若年者に対する興味・関心を醸成する取組の実施

### ふくしまの産業競争力向上のための人材育成の強化

労働者一人一人の能力を高めるとともに、デジタル変革等の経済・社会構造や技術革新等にしなやかに対応できる産業人材を育成する。

- 県立テクノアカデミーにおける、電気・機械・情報・観光などの分野の実践的な技術者育成
- 県ハイテクプラザ等で実施する研修等を通じた高度な技術・技能を有する産業人材の育成
- DXへの対応や企業の生産性向上のための高校卒業者等を対象としたIT関連技術の訓練の実施
- 中小企業等のデジタル化を担う人材育成のための在職者訓練、離職者等訓練の実施
- 中小企業事業主等が行う認定職業訓練や、企業等における多様な人材育成の取組の支援
- 教育機関、行政機関、産業界等が連携した、年齢期に応じたキャリア教育の推進

### 全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発の推進

希望や能力等に応じた働き方ができ、誰もが活躍できる全員参加型社会の実現のため、個々の特性やニーズに応じた職業能力開発に取り組む。

- 県立テクノアカデミーにおける委託訓練の充実・強化、雇用ニーズにマッチした職業訓練の提供
- 若者や、出産・育児等により離職した女性に対する早期就職に向けた支援
- 高齢者に対する就業機会の確保・提供などにより社会参加を促進
- 障がい者に対する態様に応じた職業訓練の実施、技能競技大会への参加支援
- 外国人材雇用に関する課題解決の支援、就職氷河期世代の方等への就職支援

### 技能の継承と振興

本県のものづくり産業の基盤を持続的に確保するとともに、技能が尊重され、次の世代へ継承・発展されるよう技能振興の推進に取り組む。

- 技能検定制度や職業訓練指導員試験の普及促進と認定職業訓練における技能継承
- 子どもたちを始め、広く県民を対象としたものづくり体験機会の提供
- 卓越した技能者等の表彰による技能の振興と技能者の地位向上
- 技能五輪など各種技能競技大会への参加促進による若年技能者の育成

### 職業能力開発に対する体制の整備

目標を着実に達成できる体制づくりを行う。

- 高度化が求められる訓練科や募集定員を充足しない訓練科の検証・見直しの検討などによる県立テクノアカデミーの充実強化
- 経済団体や関係機関との連携による人材育成の課題把握や問題解決に向けた施策の検討
- 産業人材育成に関する情報の収集・発信
- 職業訓練指導員に対する計画的・体系的な研修の実施

ふくしまの復興・創生

さらに、本計画に基づく施策推進の数値目標を設定し、その進捗状況を把握する。